

(10) 日常活動の状況 (Q9)

(1) 適度な活動、例えば家や庭の掃除をする、1～2時間散歩するなど

「適度な活動、例えば家や庭の掃除をする、1～2時間散歩するなど」について尋ねてみると、総数では「とても難しいと感じる」が5.1%、「すこし難しいと感じる」が11.6%、「難しいと感じない」が83.0%となった。

平成19年度調査と比較すると、「とても難しいと感じる」はやや低下したが、「すこし難しいと感じる」はやや上昇している。「難しいと感じない」はほとんど変化がみられない。

都市規模別にみると、規模が小さいほど「とても難しいと感じる」が高くなる傾向がみられる。

性別でみると、女性では「とても難しいと感じる」が5.9%、「すこし難しいと感じる」が13.1%とやや高くなっている。

年齢層別にみると、75歳以上で困難度が上昇する傾向がみられ、「とても難しいと感じる」は、75～79歳では9.1%、80歳以上では16.8%と高くなっている。

同居形態別にみると、単身世帯では「とても難しいと感じる」が6.0%、「すこし難しいと感じる」が18.6%とやや高くなっている。

現在の健康状態別にみると、良くない層では「とても難しいと感じる」が43.4%、「すこし難しいと感じる」が33.0%とかなり高い。

図1-10-1 時系列にみた適度な活動の困難度 (Q9 (1))

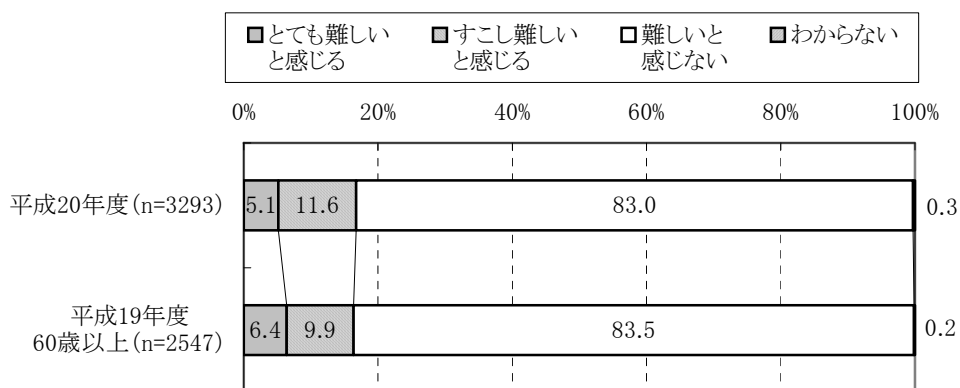


表 1-10-1 属性別にみた適度な活動の困難度 (Q9(1))

	総数	とても難しいと感じる	すこし難しいと感じる	難しいと感じない	わからない	難しいと感じる(計)
【総数】	3293	5.1	11.6	83.0	0.3	16.7
〔都市規模〕						
大都市	735	3.8	12.0	83.9	0.3	15.8
中都市	1337	5.0	11.5	83.3	0.1	16.5
小都市	835	5.5	11.9	82.3	0.4	17.4
町村	386	7.3	10.6	81.6	0.5	17.9
F1〔性別〕						
男性	1551	4.3	9.9	85.7	0.1	14.2
女性	1742	5.9	13.1	80.6	0.4	19.0
F2〔年齢別〕						
60～64歳	849	1.2	4.1	94.7	-	5.3
65～69歳	850	1.6	8.4	89.8	0.2	10.0
70～74歳	696	4.9	11.6	83.0	0.4	16.5
75～79歳	517	9.1	19.0	71.6	0.4	28.0
80歳以上	381	16.8	25.5	57.2	0.5	42.3
うち85歳以上	119	20.2	31.9	46.2	1.7	52.1
F5〔同居形態〕						
単身世帯	382	6.0	18.6	75.1	0.3	24.6
夫婦二世帯	1236	3.8	10.9	85.1	0.2	14.7
二世帯世帯	968	5.6	9.3	84.8	0.3	14.9
(本人と子)	860	5.9	9.9	83.8	0.3	15.8
(本人と親)	108	2.8	4.6	92.6	-	7.4
三世帯世帯	592	6.6	12.7	80.4	0.3	19.3
(本人と親と子)	59	3.4	3.4	93.2	-	6.8
(本人と子と孫)	533	6.9	13.7	79.0	0.4	20.6
その他	115	5.2	9.6	84.3	0.9	14.8
Q1〔現在の健康状態〕						
良い	890	0.4	2.9	96.5	0.1	3.4
まあ良い	757	2.1	7.9	89.7	0.3	10.0
普通	992	2.5	9.9	87.4	0.2	12.4
あまり良くない	548	14.2	29.7	55.5	0.5	44.0
良くない	106	43.4	33.0	22.6	0.9	76.4
良い(計)	1647	1.2	5.2	93.4	0.2	6.4
良くない(計)	654	19.0	30.3	50.2	0.6	49.2

(2) 少し重い物を持ち上げたり、運んだりする（例えば、買い物袋など）

「少し重い物を持ち上げたり、運んだりすること」について尋ねてみると、総数では「とても難しいと感じる」が 9.7%、「すこし難しいと感じる」が 17.8%、「難しいと感じない」が 72.5%となった。

平成 19 年度調査と比較すると、「とても難しいと感じる」はやや低下したが、「すこし難しいと感じる」はやや上昇している。

都市規模別にみると、規模が小さいほど困難度が高くなる傾向がみられ、町村では「とても難しいと感じる」が 12.4%とやや高く、「難しいと感じない」が 69.9%とやや低い。

性別でみると、女性は「とても難しいと感じる」が 11.9%、「すこし難しいと感じる」が 21.6%であるのに対し、男性は「とても難しいと感じる」は 7.1%、「すこし難しいと感じる」は 13.4%と低く、性別による差が大きい。

年齢層別にみると、年齢層が高いほど困難度が高まる傾向が明らかであり、「とても難しいと感じる」は、75～79 歳では 15.7%、80 歳以上では 28.6%と高い。

同居形態別にみると、単身世帯、三世帯世帯（本人と子と孫）では、困難度がやや高い傾向がみられる。

現在の健康状態別にみると、良くない層では「とても難しいと感じる」が 56.6%、「すこし難しいと感じる」が 20.8%とかなり高くなっている。

図 1-10-2 時系列にみた少し重い物を持ち上げたり運んだりすることの困難度（Q9(2)）

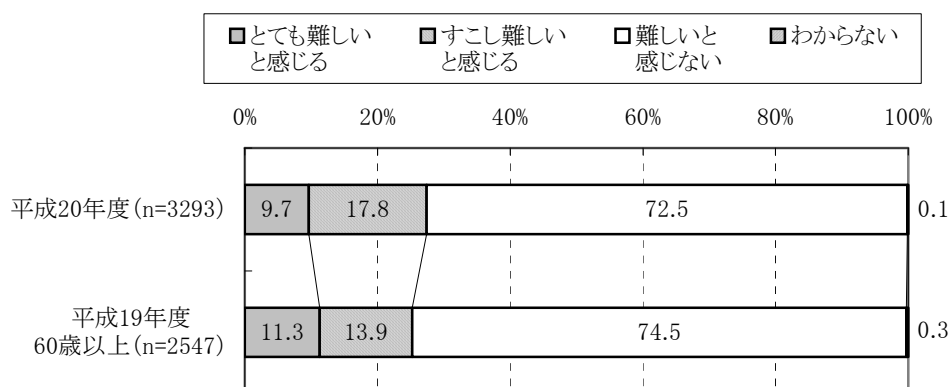


表 1-10-2 属性別にみた少し重い物を持ち上げたり運んだりすること
の困難度 (Q9(2))

	総数	とても難 しいと感 じる	すこし難 しいと感 じる	難しいと 感じない	わからな い	難しいと 感じる (計)
【総数】	3293	9.7	17.8	72.5	0.1	27.4
[都市規模]						
大都市	735	7.5	18.5	74.0	-	26.0
中都市	1337	9.6	17.1	73.1	0.1	26.7
小都市	835	10.3	18.4	71.1	0.1	28.7
町村	386	12.4	17.4	69.9	0.3	29.8
F1〔性別〕						
男性	1551	7.1	13.4	79.4	0.1	20.5
女性	1742	11.9	21.6	66.2	0.2	33.6
F2〔年齢別〕						
60～64歳	849	2.0	10.0	88.0	-	12.0
65～69歳	850	4.9	14.0	81.1	-	18.9
70～74歳	696	9.9	17.7	72.1	0.3	27.6
75～79歳	517	15.7	26.9	57.4	-	42.6
80歳以上	381	28.6	31.2	39.6	0.5	59.8
うち85歳以上	119	32.8	33.6	31.9	1.7	66.4
F5〔同居形態〕						
単身世帯	382	13.9	23.8	62.3	-	37.7
夫婦二世帯	1236	7.3	17.5	75.2	0.1	24.8
二世帯世帯	968	9.1	15.9	74.7	0.3	25.0
(本人と子)	860	9.5	16.5	73.6	0.3	26.0
(本人と親)	108	5.6	11.1	83.3	-	16.7
三世帯世帯	592	13.3	18.2	68.4	-	31.6
(本人と親と子)	59	5.1	6.8	88.1	-	11.9
(本人と子と孫)	533	14.3	19.5	66.2	-	33.8
その他	115	7.0	13.9	79.1	-	20.9
Q1〔現在の健康状態〕						
良い	890	1.5	7.4	91.1	-	8.9
まあ良い	757	4.8	17.2	78.1	-	21.9
普通	992	6.4	17.8	75.7	0.1	24.2
あまり良くない	548	26.6	34.7	38.3	0.4	61.3
良くない	106	56.6	20.8	21.7	0.9	77.4
良い(計)	1647	3.0	11.9	85.1	-	14.9
良くない(計)	654	31.5	32.4	35.6	0.5	63.9

(3) 階段を1回上までのぼる（1つ上の階にのぼる）

「階段を1回上までのぼる（1つ上の階にのぼる）こと」について尋ねてみると、総数では「とても難しいと感じる」が6.4%、「すこし難しいと感じる」が12.7%、「難しいと感じない」が80.6%となった。

平成19年度調査と比較すると、目立った変化はみられない。

都市規模別にみると、規模が小さいほど困難度がやや高くなる傾向がみられ、町村では「とても難しいと感じる」が8.0%とやや高い。

性別でみると、女性は「とても難しいと感じる」が7.7%、「すこし難しいと感じる」が15.3%であるのに対し、男性は「とても難しいと感じる」は4.9%、「すこし難しいと感じる」は9.9%と低く、性別による差がやや大きい。

年齢層別にみると、年齢層が高いほど困難度が高まる傾向がみられ、「とても難しいと感じる」は、75～79歳では12.6%、80歳以上では21.0%と高い。

同居形態別にみると、単身世帯、三世帯世帯（本人と子と孫）では、困難度がやや高い傾向がみられる。

現在の健康状態別にみると、良くない層では「とても難しいと感じる」が43.4%、「すこし難しいと感じる」が30.2%とかなり高くなっている。

図1-10-3 時系列にみた階段を1回上までのぼることの困難度（Q9(3)）

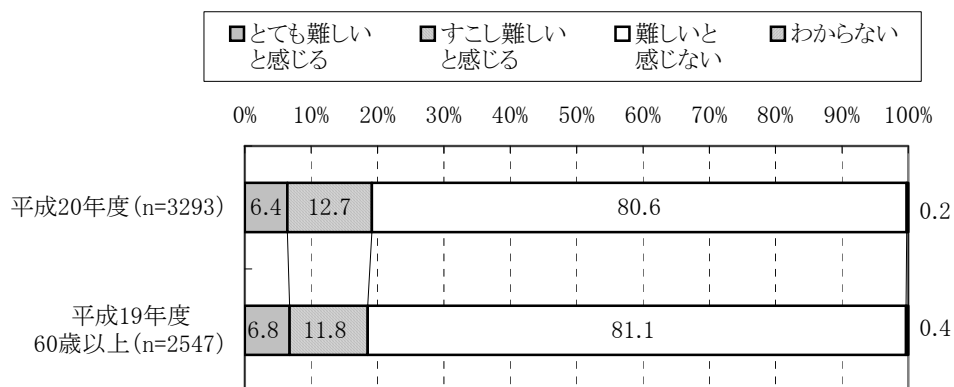


表 1-10-3 属性別にみた階段を1回上までのぼることの困難度 (Q9(3))

	総数	とても難しいと感じる	すこし難しいと感じる	難しいと感じない	わからない	難しいと感じる(計)
【総数】	3293	6.4	12.7	80.6	0.2	19.1
〔都市規模〕						
大都市	735	5.6	12.9	81.2	0.3	18.5
中都市	1337	6.2	11.7	81.9	0.2	17.9
小都市	835	6.7	14.3	78.9	0.1	21.0
町村	386	8.0	12.7	78.8	0.5	20.7
F1〔性別〕						
男性	1551	4.9	9.9	85.1	0.1	14.8
女性	1742	7.7	15.3	76.6	0.3	23.0
F2〔年齢別〕						
60～64歳	849	0.9	6.5	92.5	0.1	7.4
65～69歳	850	2.7	7.5	89.6	0.1	10.2
70～74歳	696	5.0	15.4	79.5	0.1	20.4
75～79歳	517	12.6	18.0	69.2	0.2	30.6
80歳以上	381	21.0	26.2	51.7	1.0	47.2
うち85歳以上	119	26.9	26.9	44.5	1.7	53.8
F5〔同居形態〕						
単身世帯	382	10.2	18.8	70.4	0.5	29.1
夫婦二世帯	1236	4.8	10.7	84.5	0.1	15.5
二世帯世帯	968	6.2	11.0	82.4	0.4	17.1
（本人と子）	860	6.4	11.4	81.7	0.5	17.8
（本人と親）	108	4.6	7.4	88.0	-	12.0
三世帯世帯	592	8.4	15.0	76.4	0.2	23.5
（本人と親と子）	59	3.4	5.1	91.5	-	8.5
（本人と子と孫）	533	9.0	16.1	74.7	0.2	25.1
その他	115	2.6	17.4	80.0	-	20.0
Q1〔現在の健康状態〕						
良い	890	0.7	4.0	95.3	-	4.7
まあ良い	757	3.2	10.3	86.4	0.1	13.5
普通	992	4.0	12.2	83.7	0.1	16.2
あまり良くない	548	17.3	27.7	54.2	0.7	45.1
良くない	106	43.4	30.2	24.5	1.9	73.6
良い(計)	1647	1.8	6.9	91.2	0.1	8.7
良くない(計)	654	21.6	28.1	49.4	0.9	49.7

(4) 体を前に曲げる、ひざまずく、かがむ

「体を前に曲げる、ひざまずく、かがむこと」について尋ねてみると、総数では「とても難しいと感じる」が 6.4%、「すこし難しいと感じる」が 14.3%、「難しいと感じない」が 79.2% となった。

平成 19 年度調査と比較すると、「すこし難しいと感じる」が 11.9%から 14.3%へとやや高くなっている。

都市規模別では、目立った差はみられない。

性別でみると、女性は「とても難しいと感じる」が 8.2%、「すこし難しいと感じる」が 15.9%であるのに対し、男性は「とても難しいと感じる」は 4.4%、「すこし難しいと感じる」は 12.5%とやや低く、性別による差がやや大きい。

年齢層別にみると、年齢層が高いほど困難度が高まる傾向がみられ、「とても難しいと感じる」は、75～79 歳では 11.0%、80 歳以上では 19.2%と高い。

同居形態別にみると、単身世帯、三世帯世帯（本人と子と孫）では、困難度がやや高い傾向がみられる。

現在の健康状態別にみると、良くない層では「とても難しいと感じる」が 41.5%、「すこし難しいと感じる」が 27.4%とかなり高くなっている。

図 1-10-4 時系列にみた体を前に曲げる、ひざまずく、かがむことの困難度（Q9(4)）

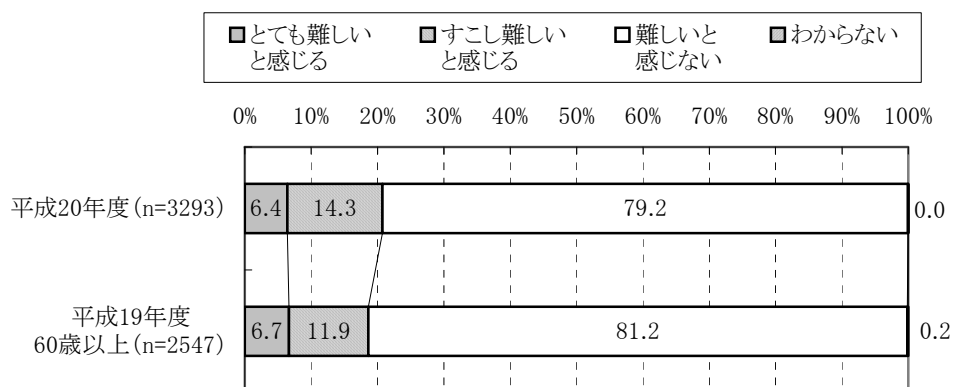


表1-10-4 属性別にみた体を前に曲げる、ひざまずく、かがむことの困難度（Q9(4)）

	総数	とても難しいと感じる	すこし難しいと感じる	難しいと感じない	わからない	難しいと感じる(計)
【総数】	3293	6.4	14.3	79.2	0.0	20.7
〔都市規模〕						
大都市	735	6.0	13.6	80.4	-	19.6
中都市	1337	6.7	13.4	80.0	-	20.0
小都市	835	6.6	15.7	77.7	-	22.3
町村	386	6.2	15.8	77.7	0.3	22.0
F1〔性別〕						
男性	1551	4.4	12.5	83.0	-	17.0
女性	1742	8.2	15.9	75.8	0.1	24.1
F2〔年齢別〕						
60～64歳	849	1.5	6.4	92.1	-	7.9
65～69歳	850	3.1	8.9	88.0	-	12.0
70～74歳	696	6.2	15.8	78.0	-	22.0
75～79歳	517	11.0	25.0	64.0	-	36.0
80歳以上	381	19.2	26.8	53.8	0.3	45.9
うち85歳以上	119	21.0	33.6	44.5	0.8	54.6
F5〔同居形態〕						
単身世帯	382	8.9	21.7	69.4	-	30.6
夫婦二世帯	1236	5.4	12.4	82.2	-	17.8
二世帯世帯	968	5.5	13.3	81.1	0.1	18.8
（本人と子）	860	5.6	14.0	80.3	0.1	19.5
（本人と親）	108	4.6	8.3	87.0	-	13.0
三世帯世帯	592	8.4	15.4	76.2	-	23.8
（本人と親と子）	59	3.4	5.1	91.5	-	8.5
（本人と子と孫）	533	9.0	16.5	74.5	-	25.5
その他	115	7.0	13.0	80.0	-	20.0
Q1〔現在の健康状態〕						
良い	890	0.6	5.3	94.2	-	5.8
まあ良い	757	3.7	11.8	84.5	-	15.5
普通	992	3.8	13.7	82.5	-	17.5
あまり良くない	548	17.7	31.0	51.3	-	48.7
良くない	106	41.5	27.4	30.2	0.9	68.9
良い(計)	1647	2.0	8.3	89.7	-	10.3
良くない(計)	654	21.6	30.4	47.9	0.2	52.0

(5) 数百メートルくらい歩く

「数百メートルくらい歩くこと」について尋ねてみると、総数では「とても難しいと感じる」が4.4%、「すこし難しいと感じる」が8.5%、「難しいと感じない」が86.9%となった。

平成19年度調査と比較すると、目立った変化はみられない。

都市規模別では、規模が小さいほど困難度が高くなる傾向がみられ、小都市では「とても難しいと感じる」が5.5%、「すこし難しいと感じる」が9.6%とやや高い。

性別でみると、女性は「とても難しいと感じる」が5.2%、「すこし難しいと感じる」が10.4%であるのに対し、男性は「とても難しいと感じる」は3.5%、「すこし難しいと感じる」は6.4%とやや低く、性別による差がやや大きい。

年齢層別にみると、80歳以上で困難度が高くなる傾向がみられ、85歳以上では「とても難しいと感じる」は17.6%、「すこし難しいと感じる」は25.2%とさらに高くなる。

同居形態別にみると、単身世帯、三世帯世帯（本人と子と孫）では、困難度がやや高い傾向がみられる。

現在の健康状態別にみると、良くない層では「とても難しいと感じる」が32.1%、「すこし難しいと感じる」が34.0%とかなり高くなっている。

図1-10-5 時系列にみた数百メートルくらい歩くことの困難度（Q9(5)）

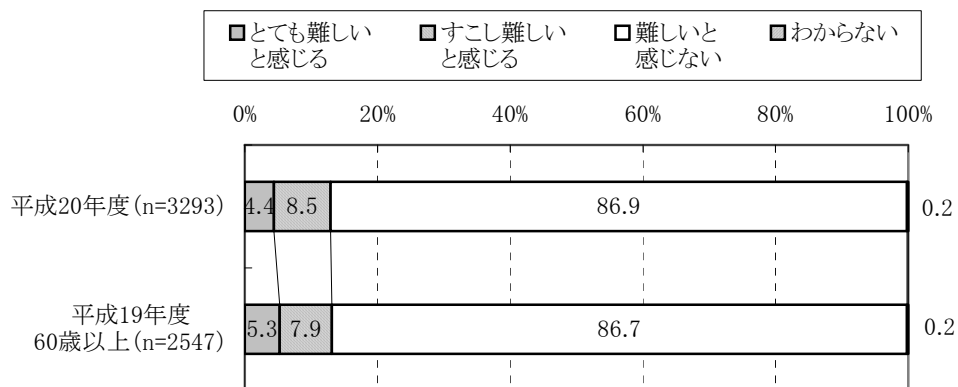


表 1-10-5 属性別にみた数百メートルくらい歩くことの困難度 (Q9(5))

	総数	とても難しいと感じる	すこし難しいと感じる	難しいと感じない	わからない	難しいと感じる(計)
【総数】	3293	4.4	8.5	86.9	0.2	12.9
〔都市規模〕						
大都市	735	3.3	7.5	89.3	-	10.7
中都市	1337	4.1	8.1	87.7	0.1	12.2
小都市	835	5.5	9.6	84.7	0.2	15.1
町村	386	5.2	9.6	84.7	0.5	14.8
F1〔性別〕						
男性	1551	3.5	6.4	90.0	0.1	9.9
女性	1742	5.2	10.4	84.2	0.2	15.6
F2〔年齢別〕						
60～64歳	849	0.6	3.5	95.9	-	4.1
65～69歳	850	2.2	4.2	93.3	0.2	6.5
70～74歳	696	3.2	9.6	87.1	0.1	12.8
75～79歳	517	7.7	13.3	78.7	0.2	21.1
80歳以上	381	15.5	20.5	63.5	0.5	36.0
うち85歳以上	119	17.6	25.2	56.3	0.8	42.9
F5〔同居形態〕						
単身世帯	382	7.3	12.3	80.1	0.3	19.6
夫婦二世帯	1236	3.2	7.0	89.8	-	10.2
二世帯世帯	968	4.1	7.3	88.2	0.3	11.5
（本人と子）	860	4.4	7.7	87.6	0.3	12.1
（本人と親）	108	1.9	4.6	93.5	-	6.5
三世帯世帯	592	5.7	11.3	82.6	0.3	17.1
（本人と親と子）	59	3.4	1.7	94.9	-	5.1
（本人と子と孫）	533	6.0	12.4	81.2	0.4	18.4
その他	115	3.5	7.0	89.6	-	10.4
Q1〔現在の健康状態〕						
良い	890	0.4	1.9	97.5	0.1	2.4
まあ良い	757	1.2	5.9	92.9	-	7.1
普通	992	2.0	7.1	90.6	0.3	9.1
あまり良くない	548	14.2	20.4	65.1	0.2	34.7
良くない	106	32.1	34.0	33.0	0.9	66.0
良い(計)	1647	0.8	3.8	95.4	0.1	4.6
良くない(計)	654	17.1	22.6	59.9	0.3	39.8

(6) 自分でお風呂に入ったり、着がえたりする

「自分でお風呂に入ったり、着がえたりすること」について尋ねてみると、総数では「とても難しいと感じる」が 1.8%、「すこし難しいと感じる」が 3.6%、「難しいと感じない」が 94.7% となった。

平成 19 年度調査と比較すると、目立った変化はみられない。

都市規模別では、目立った差はみられない。

性別でも、大きな差はみられない。

年齢層別にみると、80 歳以上で困難度がやや高くなる傾向がみられ、85 歳以上では「とても難しいと感じる」は 8.4%、「すこし難しいと感じる」は 16.0% とさらに高くなる。

同居形態別にみると、単身世帯、三世帯世帯（本人と子と孫）では、困難度がわずかながらも高い傾向がみられる。

現在の健康状態別にみると、良くない層では「とても難しいと感じる」が 17.9%、「すこし難しいと感じる」が 22.6% とかなり高くなっている。

図 1-10-6 時系列にみた自分でお風呂に入ったり、着がえたりすることの困難度 (Q9(6))

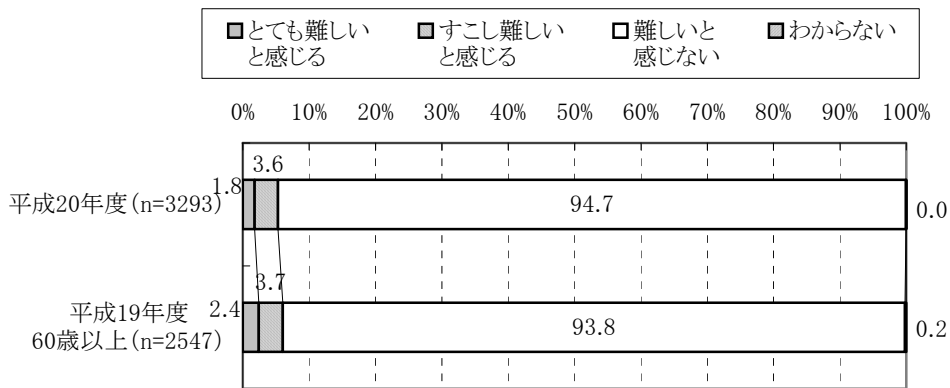


表 1-10-6 時系列にみた自分でお風呂に入ったり、着がえたりすることの困難度 (Q9(6))

	総数	とても難しいと感じる	すこし難しいと感じる	難しいと感じない	わからない	難しいと感じる(計)
【総数】	3293	1.8	3.6	94.7	0.0	5.3
〔都市規模〕						
大都市	735	1.5	2.4	96.1	-	3.9
中都市	1337	1.8	3.2	95.0	-	5.0
小都市	835	2.0	4.3	93.7	-	6.3
町村	386	1.6	5.2	93.0	0.3	6.7
F1〔性別〕						
男性	1551	1.8	2.8	95.4	-	4.6
女性	1742	1.7	4.2	94.0	0.1	6.0
F2〔年齢別〕						
60～64歳	849	0.2	0.5	99.3	-	0.7
65～69歳	850	1.2	0.6	98.2	-	1.8
70～74歳	696	1.3	3.4	95.3	-	4.7
75～79歳	517	2.1	7.9	89.9	-	10.1
80歳以上	381	6.8	11.3	81.6	0.3	18.1
うち85歳以上	119	8.4	16.0	74.8	0.8	24.4
F5〔同居形態〕						
単身世帯	382	2.6	5.2	92.1	-	7.9
夫婦二世帯	1236	0.9	2.8	96.3	-	3.7
二世帯世帯	968	1.9	3.2	94.8	0.1	5.1
（本人と子）	860	1.9	3.5	94.5	0.1	5.3
（本人と親）	108	1.9	0.9	97.2	-	2.8
三世帯世帯	592	3.0	4.6	92.4	-	7.6
（本人と親と子）	59	1.7	-	98.3	-	1.7
（本人と子と孫）	533	3.2	5.1	91.7	-	8.3
その他	115	0.9	3.5	95.7	-	4.3
Q1〔現在の健康状態〕						
良い	890	0.2	0.1	99.7	-	0.3
まあ良い	757	0.7	1.6	97.8	-	2.2
普通	992	0.6	1.9	97.5	-	2.5
あまり良くない	548	4.7	11.1	84.1	-	15.9
良くない	106	17.9	22.6	58.5	0.9	40.6
良い(計)	1647	0.4	0.8	98.8	-	1.2
良くない(計)	654	6.9	13.0	80.0	0.2	19.9

(11) 心配ごとや悩みごと (Q10)

「現在、心配ごとや悩みごとがあるか」について尋ねたところ、総数では「自分の健康のこと」が38.8%で最も高く、以下、「配偶者の健康のこと」が23.0%、「生活費など経済的なこと」が14.8%、「配偶者に先立たれた後の生活のこと」が12.4%と続いている。

平成19年度調査と比較すると、「心配ごとはない」が46.3%から37.1%に低下し、全体的に各項目の回答比率が高まる傾向がみられる。とりわけ、「自分の健康のこと」「配偶者の健康のこと」「配偶者に先立たれた後の生活のこと」では大きく上昇している。

都市規模別にみると、規模が大きいほど「生活費など経済的なこと」「病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと」が高くなる傾向がみられる。

性別でみると、男性では「配偶者に先立たれた後の生活のこと」が15.0%と、女性の10.1%を上回っている。

年齢層別にみると、年齢層が高いほど「生活費など経済的なこと」「現在住んでいる家の老朽化による修理や建替のこと」が低くなり、「自分の健康のこと」が高くなる傾向がみられる。

未婚・既婚別にみると、未婚では「生活費など経済的なこと」が29.8%、「病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと」が29.8%、「一人暮らしや孤独になること」が20.2%と高い。既婚（配偶者と離別）では、「生活費など経済的なこと」が30.4%と高くなっている。

現在の健康状態別にみると、「良い」＋「まあ良い」の層では「心配ごとはない」が48.2%であるのに対して、「あまり良くない」＋「良くない」の層では13.9%にとどまっている。

図1-11 時系列にみた心配ごとや悩みごと (Q10 M. A.)

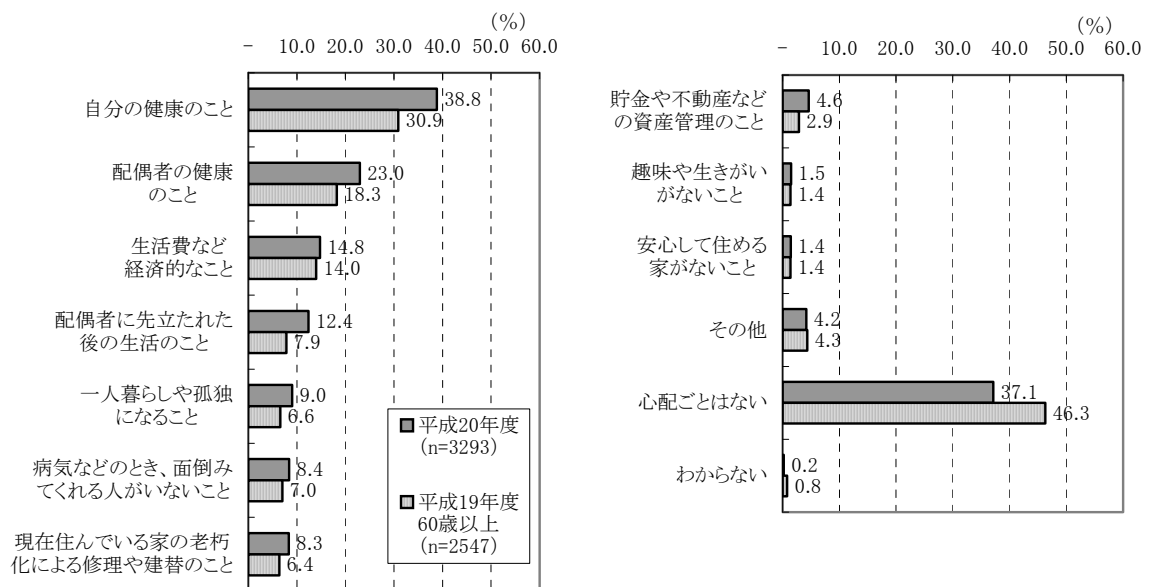


表1-11 属性別にみた心配ごとや悩みごと (Q10 M. A.)

	総数	自分の健康のこと	配偶者の健康のこと	病気のと き面倒み てくれる 人いない	一人暮らしや孤独 になること	配偶者に 先立たれた後の生活のこと	生活費など 経済的なこと
**【総数】	3293	38.8	23.0	8.4	9.0	12.4	14.8
〔都市規模〕							
大都市	735	37.3	23.7	10.9	9.9	11.8	16.6
中都市	1337	38.8	24.5	8.5	9.4	13.6	15.3
小都市	835	41.1	22.2	6.8	7.9	11.0	14.0
町村	386	36.8	18.1	6.7	8.0	12.2	11.1
F1〔性別〕							
男性	1551	37.0	24.4	6.8	8.2	15.0	15.3
女性	1742	40.4	21.8	9.8	9.7	10.1	14.4
F2〔年齢別〕							
60～64歳	849	34.4	23.9	6.9	8.7	14.7	21.0
65～69歳	850	36.4	23.2	8.6	10.2	13.8	15.4
70～74歳	696	40.4	24.4	10.3	9.3	13.4	13.6
75～79歳	517	41.8	22.8	6.8	8.7	10.1	11.4
80歳以上	381	47.2	18.1	9.7	6.6	5.5	6.3
うち85歳以上	119	46.2	18.5	9.2	5.0	1.7	6.7
F3〔未既婚〕							
未婚	104	43.3	-	29.8	20.2	-	29.8
既婚（配偶者あり）	2477	36.8	30.6	6.7	8.4	15.9	14.0
既婚（配偶者と死別）	600	44.2	-	9.8	8.7	2.2	12.5
既婚（配偶者と離別）	112	50.0	-	18.8	13.4	0.9	30.4
Q1〔現在の健康状態〕							
良い	890	15.1	16.0	3.8	5.2	9.0	10.4
まあ良い	757	33.7	23.9	6.3	8.2	12.7	12.9
普通	992	40.4	26.3	9.5	10.7	14.3	16.1
あまり良くない	548	73.0	26.1	13.5	10.8	13.1	19.9
良くない	106	83.0	28.3	24.5	21.7	17.0	25.5
良い（計）	1647	23.6	19.6	5.0	6.6	10.7	11.6
良くない（計）	654	74.6	26.5	15.3	12.5	13.8	20.8

	貯金や不動産などの資産管理のこと	現在の家の老朽化による修理のこと	安心して住める家がないこと	趣味や生きがいがないこと	その他	心配ごとはない	わからない	心配ごとがある（計）
**【総数】	4.6	8.3	1.4	1.5	4.2	37.1	0.2	62.6
〔都市規模〕								
大都市	5.3	9.9	2.6	1.5	2.9	36.2	-	63.8
中都市	5.1	8.1	1.5	1.9	4.2	37.1	0.1	62.8
小都市	3.2	7.5	0.7	1.0	4.4	37.0	0.1	62.9
町村	4.4	7.8	0.5	1.3	6.2	39.4	1.3	59.3
F1〔性別〕								
男性	4.8	8.6	1.2	1.4	3.1	38.5	0.2	61.3
女性	4.4	8.0	1.6	1.5	5.2	35.9	0.2	63.8
F2〔年齢別〕								
60～64歳	5.4	10.2	2.1	1.9	3.4	37.7	0.1	62.2
65～69歳	5.2	8.8	1.3	2.0	5.4	37.8	0.2	62.0
70～74歳	4.7	9.2	1.7	1.0	5.3	34.8	0.3	64.9
75～79歳	3.5	6.4	1.0	1.2	3.5	37.7	-	62.3
80歳以上	2.6	3.9	0.3	0.8	2.1	38.1	0.5	61.4
うち85歳以上	4.2	4.2	0.8	0.8	1.7	38.7	0.8	60.5
F3〔未既婚〕								
未婚	3.8	9.6	6.7	1.0	3.8	29.8	-	70.2
既婚（配偶者あり）	4.6	8.8	1.0	1.5	3.9	37.3	0.1	62.6
既婚（配偶者と死別）	3.8	6.3	1.8	1.8	5.3	40.0	0.7	59.3
既婚（配偶者と離別）	8.0	8.0	4.5	0.9	5.4	25.0	-	75.0
Q1〔現在の健康状態〕								
良い	3.3	6.3	0.4	0.6	4.9	54.9	0.2	44.8
まあ良い	4.8	6.9	0.3	1.2	5.0	40.3	0.1	59.6
普通	4.2	11.7	2.2	2.3	3.4	34.1	0.2	65.7
あまり良くない	6.4	7.7	2.6	0.9	3.1	15.3	0.2	84.5
良くない	8.5	7.5	4.7	6.6	4.7	6.6	0.9	92.5
良い（計）	3.9	6.6	0.4	0.9	5.0	48.2	0.2	51.6
良くない（計）	6.7	7.6	2.9	1.8	3.4	13.9	0.3	85.8

(12) 支えられるべきと思う高齢者の年齢 (Q11)

「一般的に支えられるべき高齢者」について尋ねたところ、総数では「75歳以上」が27.1%で最も高く、以下、「80歳以上」が25.7%、「70歳以上」が22.9%、「85歳以上」が4.9%、「65歳以上」が4.8%などとなった。

平成19年度調査と比較すると、支えられるべきと思う年齢層が高まる傾向がみられ、「80歳以上」は22.5%から25.7%に上昇している。

都市規模別にみると、規模が小さいほど、支えられるべきと思う年齢層がやや高まる傾向がみられる。また、大都市では「年齢では判断できない」の比率がやや高い。

地域別にみると、北海道では「65歳以上」が11.1%とやや高い。中国地方では、「70歳以上」が16.3%とやや低く、「80歳以上」が27.6%、「85歳以上」が8.1%とやや高い。

性別でみると、「70歳以上」は男性では26.2%、女性では20.0%であるのに対し、「80歳以上」は男性では21.6%、女性では29.4%となっており、女性の方が支えられるべきと思う年齢層が高くなっている。

年齢層別にみると、年齢層が高くなるほど、支えられるべきと思う年齢層がやや高まる傾向がみられる。80歳以上では、10.8%が「85歳以上」と回答している。

現在の職業別にみると、常勤の被雇用者では「70歳以上」「75歳以上」が中心的であるが、農林漁業、自営業では「75歳以上」「80歳以上」が中心的となっている。

図1-12 時系列にみた支えられるべきと思う高齢者の年齢 (Q11)

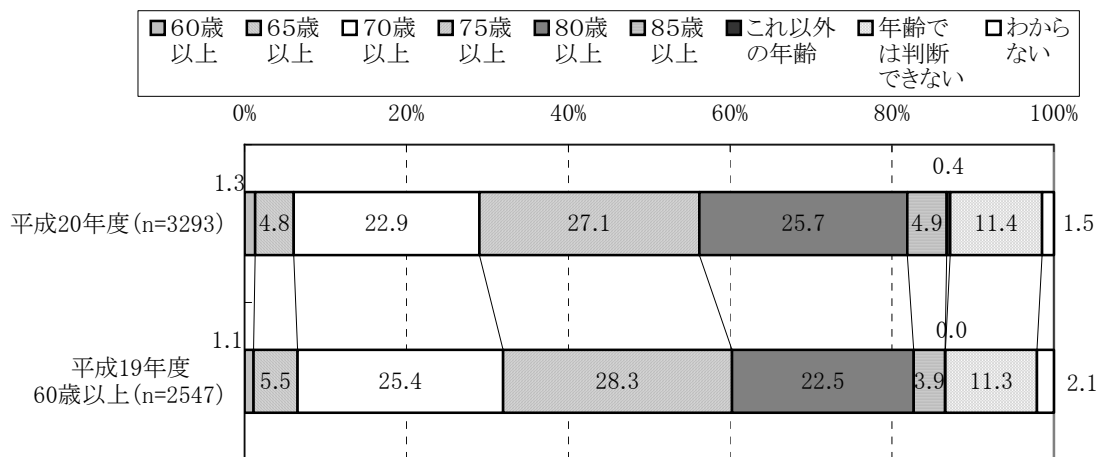


表 1-12 属性別にみた支えられるべきと思う高齢者の年齢 (Q11)

	総数	60歳以上	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	これ以外の年齢	年齢では判断できない	わからない
** 総数	3293	1.3	4.8	22.9	27.1	25.7	4.9	0.4	11.4	1.5
〔都市規模〕										
大都市	735	1.1	4.6	25.3	23.9	25.0	4.9	0.4	13.7	1.0
中都市	1337	1.4	4.7	22.7	27.7	24.5	6.1	0.3	11.0	1.5
小都市	835	1.2	4.4	21.8	27.9	27.7	3.8	0.7	11.1	1.3
町村	386	1.6	6.2	21.8	29.5	26.9	2.6	0.3	8.5	2.6
〔地域別〕										
北海道	144	1.4	11.1	20.8	31.3	17.4	3.5	-	14.6	-
東北	282	1.8	5.7	22.7	23.0	27.0	4.6	-	11.3	3.9
関東	964	1.5	4.5	23.4	23.7	27.6	4.9	0.5	13.0	1.0
北陸	183	0.5	3.3	25.1	32.8	26.2	2.7	0.5	6.6	2.2
東山	153	0.7	2.6	22.9	31.4	28.8	2.0	1.3	8.5	2.0
東海	319	1.3	6.9	25.1	23.8	23.2	5.0	-	12.9	1.9
近畿	482	0.8	4.4	23.0	27.6	25.5	5.6	0.4	11.4	1.2
中国	221	0.9	2.7	16.3	31.2	27.6	8.1	0.9	11.3	0.9
四国	137	0.7	4.4	21.2	33.6	24.1	2.9	1.5	11.7	-
九州	408	2.2	4.4	24.0	30.4	23.8	5.4	-	8.3	1.5
F1〔性別〕										
男性	1551	1.3	5.7	26.2	28.0	21.6	4.1	0.5	11.8	0.9
女性	1742	1.3	4.0	20.0	26.4	29.4	5.6	0.4	11.0	2.0
F2〔年齢別〕										
60～64歳	849	1.5	5.4	25.2	28.7	23.8	3.5	0.1	11.2	0.5
65～69歳	850	0.7	5.8	23.1	32.9	23.3	3.1	0.2	10.4	0.6
70～74歳	696	1.4	4.6	22.3	26.1	27.4	5.2	0.4	11.1	1.4
75～79歳	517	2.1	3.9	23.0	24.8	27.3	5.2	0.2	11.8	1.7
80歳以上	381	0.8	2.9	18.6	15.7	30.2	10.8	1.8	13.9	5.2
うち85歳以上	119	-	1.7	20.2	10.9	30.3	10.1	2.5	17.6	6.7
F6〔現在の職業〕										
農林漁業	143	0.7	4.2	23.8	32.2	28.0	4.2	-	5.6	1.4
自営業	397	1.3	5.8	19.4	28.2	27.7	5.3	0.3	11.1	1.0
常勤の被雇用者	183	1.1	3.8	29.0	30.6	20.8	3.3	-	10.9	0.5
会社の嘱託や顧問等	78	2.6	5.1	23.1	25.6	28.2	1.3	1.3	12.8	-
契約・派遣・臨時・パート	314	1.6	4.5	25.2	32.2	23.6	3.5	-	9.2	0.3
内職	23	-	-	26.1	39.1	26.1	4.3	-	4.3	-
その他	14	-	7.1	-	50.0	14.3	-	-	28.6	-
仕事はしていない	2141	1.3	4.8	22.8	25.4	25.9	5.3	0.6	12.1	1.9
仕事をしている(計)	1152	1.3	4.8	23.2	30.5	25.3	4.0	0.2	10.1	0.7
Q1〔現在の健康状態〕										
良い	890	0.9	4.8	20.1	28.1	25.1	7.0	0.3	12.7	1.0
まあ良い	757	0.8	4.0	21.8	29.1	29.2	5.3	0.5	8.6	0.8
普通	992	1.0	4.4	23.3	28.3	26.4	3.6	0.5	11.2	1.2
あまり良くない	548	2.0	5.5	28.5	21.7	22.6	3.8	0.2	13.1	2.6
良くない	106	7.5	10.4	22.6	22.6	16.0	0.9	0.9	12.3	6.6
良い(計)	1647	0.9	4.4	20.9	28.5	27.0	6.2	0.4	10.8	0.9
良くない(計)	654	2.9	6.3	27.5	21.9	21.6	3.4	0.3	13.0	3.2

(13) 退職希望年齢 (Q12)

「何歳ごろまで仕事をしたいか」について尋ねたところ、総数では「働けるうちはいつまでも」が36.8%で最も高く、「70歳ぐらいまで」が23.0%、「65歳ぐらいまで」が19.2%、「60歳ぐらいまで」が9.7%、「75歳ぐらいまで」が8.9%となっている。

平成19年度調査と比較すると、「働けるうちはいつまでも」が34.1%から36.8%にやや上昇している。

都市規模別にみると、町村では「働けるうちはいつまでも」が43.5%と高く、大都市では、「65歳ぐらいまで」が22.9%と高い。

地域別にみると、東北で「働けるうちはいつまでも」が46.1%と高い。

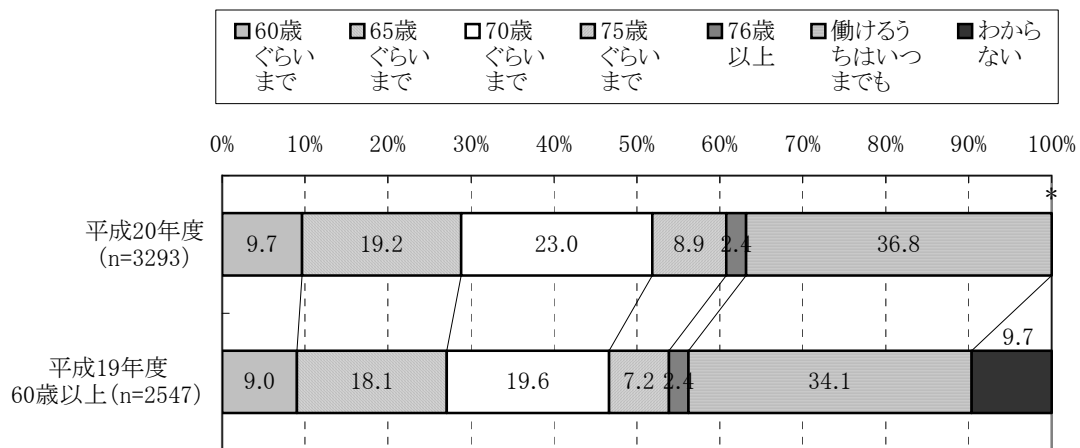
性別でみると、女性では「働けるうちはいつまでも」が42.0%を占めている。男性では、「働けるうちはいつまでも」は31.0%とやや低い。

年齢層別にみると、年齢層が高いほど、「働けるうちはいつまでも」が高くなる傾向にある。

現在の職業別にみると、「働けるうちはいつまでも」は、農林漁業では63.6%、自営業では48.6%と高いのに対し、常勤の被雇用者では18.0%と低い。

現在の収入別にみると、収入が低い層で「働けるうちはいつまでも」がやや高い傾向がみられる。

図1-13 時系列にみた退職希望年齢 (Q12)



(注：*は、調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。)

表 1-13 属性別にみた退職希望年齢 (Q12)

	総数	60歳 ぐらいま で	65歳 ぐらいま で	70歳 ぐらいま で	75歳 ぐらいま で	76歳 以上	働けるう ちはいつ までも
【総数】	3293	9.7	19.2	23.0	8.9	2.4	36.8
〔都市規模〕							
大都市	735	7.9	22.9	25.3	9.3	1.5	33.2
中都市	1337	10.5	18.9	23.0	8.8	2.4	36.4
小都市	835	9.9	18.8	21.7	8.9	3.0	37.7
町村	386	9.6	13.7	21.8	8.5	2.8	43.5
〔地域別〕							
北海道	144	10.4	22.2	23.6	9.7	0.7	33.3
東北	282	10.3	12.8	19.1	8.5	3.2	46.1
関東	964	8.3	22.6	22.2	8.7	2.5	35.7
北陸	183	6.0	23.0	26.8	9.3	3.3	31.7
東山	153	5.2	19.0	20.9	9.8	4.6	40.5
東海	319	11.3	19.4	27.6	8.5	2.5	30.7
近畿	482	10.4	16.6	29.7	8.7	1.9	32.8
中国	221	14.0	16.7	17.2	10.0	1.4	40.7
四国	137	15.3	17.5	21.9	8.8	2.2	34.3
九州	408	9.1	17.4	18.9	8.8	2.2	43.6
F1〔性別〕							
男性	1551	6.8	20.4	28.1	10.6	3.0	31.0
女性	1742	12.2	18.1	18.5	7.3	1.8	42.0
F2〔年齢別〕							
60～64歳	849	9.8	35.9	23.2	4.4	0.2	26.5
65～69歳	850	11.4	14.6	29.4	10.5	0.8	33.3
70～74歳	696	8.2	14.2	20.3	13.1	5.0	39.2
75～79歳	517	8.9	12.6	19.3	8.7	3.3	47.2
80歳以上	381	9.2	10.0	18.6	8.1	4.7	49.3
うち85歳以上	119	8.4	11.8	19.3	7.6	6.7	46.2
F6〔現在の職業〕							
農林漁業	143	1.4	5.6	10.5	12.6	6.3	63.6
自営業	397	1.3	11.6	24.9	9.8	3.8	48.6
常勤の被雇用者	183	1.6	33.9	33.9	11.5	1.1	18.0
会社の嘱託や顧問等	78	1.3	30.8	30.8	10.3	2.6	24.4
契約・派遣・臨時・パート	314	1.0	24.8	30.3	9.9	1.9	32.2
内職	23	4.3	4.3	17.4	8.7	4.3	60.9
その他	14	-	14.3	14.3	7.1	-	64.3
仕事はしていない	2141	14.2	19.1	21.4	8.1	2.1	35.2
仕事をしている(計)	1152	1.3	19.2	26.1	10.4	3.0	39.9
F9〔現在の収入〕							
5万円未満	91	3.3	14.3	13.2	6.6	3.3	59.3
5万円～10万円未満	305	6.2	12.5	19.7	8.9	3.3	49.5
10万円～15万円未満	416	8.2	17.3	23.1	9.1	2.9	39.4
15万円～20万円未満	456	11.6	16.2	25.2	8.3	2.6	36.0
20万円～25万円未満	536	14.4	18.7	24.3	8.6	2.2	31.9
25万円～30万円未満	437	10.5	22.7	23.6	8.2	1.8	33.2
30万円～40万円未満	424	8.7	24.5	23.6	7.8	2.8	32.5
40万円～60万円未満	279	6.1	26.2	20.8	12.5	0.7	33.7
60万円～80万円未満	64	6.3	25.0	25.0	12.5	-	31.3
80万円以上	97	5.2	19.6	24.7	12.4	5.2	33.0
収入はない	60	13.3	15.0	21.7	6.7	1.7	41.7
無回答	128	11.7	10.9	25.0	7.8	1.6	43.0
Q1〔現在の健康状態〕							
良い	890	7.4	21.0	24.5	9.4	2.0	35.6
まあ良い	757	10.2	19.4	21.0	8.5	3.3	37.6
普通	992	9.7	20.3	23.4	9.6	2.5	34.6
あまり良くない	548	11.3	15.1	23.2	7.5	1.8	41.1
良くない	106	16.0	12.3	21.7	8.5	0.9	40.6
良い(計)	1647	8.7	20.3	22.9	9.0	2.6	36.6
良くない(計)	654	12.1	14.7	22.9	7.6	1.7	41.0

(14) 日常生活で負担を感じている支出 (Q13)

「日常生活の支出の中で、負担を感じている支出はあるか」について尋ねたところ、総数では「医療費」が28.6%で最も高く、以下、「生命保険や損害保険などの保険料」が14.7%、「食費」が13.2%、「自動車等（オートバイを含む）関係の費用」が8.1%、「友人等との交際費・つきあいの費用」が8.0%、「子や孫のための支出」が7.6%、「家賃・住宅ローン」が7.6%などと続いている。

平成19年度調査と比較すると、「医療費」「生命保険や損害保険などの保険料」がやや高くなり、「食費」「自動車等（オートバイを含む）関係の費用」がやや低くなっている。「負担を感じているものは特にない」は、43.9%から45.4%とやや高くなっている。

都市規模別にみると、大都市では「食費」「家賃・住宅ローン」「医療費」がやや高くなっている。町村では「負担を感じているものは特にない」がやや高い。

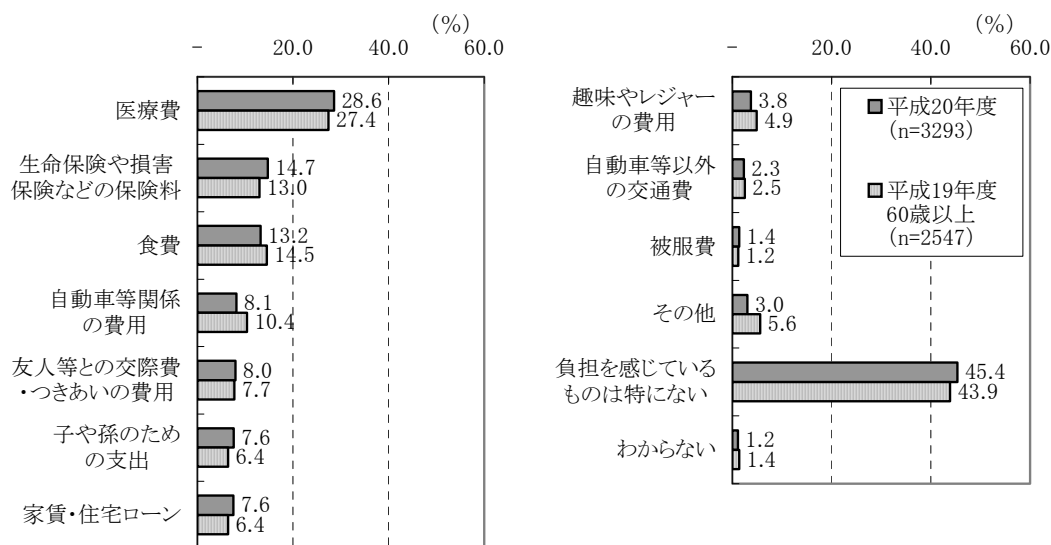
年齢層別にみると、年齢層が低いほど「家賃・住宅ローン」「自動車等（オートバイを含む）関係の費用」「生命保険や損害保険などの保険料」が高い傾向がみられる。年齢層が高くなるにしたがって、「負担を感じているものは特にない」が高くなる傾向にあり、80歳以上では64.6%に達する。

未婚・既婚別にみると、既婚（配偶者と離別）では、「家賃・住宅ローン」がやや高い。

同居形態別にみると、二世帯世帯（本人と親）では「医療費」がやや高く、三世帯世帯（本人と親と子）では「食費」「自動車等（オートバイを含む）関係の費用」「生命保険や損害保険などの保険料」が高い傾向にある。

現在の収入別にみると、収入が少ないほど「食費」が高くなる傾向があり、収入が60万円以上の層では「負担を感じているものは特にない」が半数を超える。

図1-14 時系列にみた日常生活で負担を感じている支出 (Q13 3M. A.)



現在の健康状態別にみると、「あまり良くない」＋「良くない」の層では「医療費」が41.0%と特に多くなっている。

表1-14① 属性別にみた日常生活で負担を感じている支出（Q13 3M. A.）

<その1>

	総数	食費	被服費	家賃・住宅ローン	自動車等関係の費用	自動車等以外の交通費	医療費	友人等との交際費・つきあいの費用
**【総数】*	3293	13.2	1.4	7.6	8.1	2.3	28.6	8.0
〔都市規模〕								
大都市	735	15.0	1.5	9.5	6.0	2.4	30.3	6.1
中都市	1337	12.3	1.3	8.5	8.0	2.6	27.7	7.2
小都市	835	13.7	1.3	5.5	9.5	2.0	30.2	10.3
町村	386	12.2	1.3	5.2	9.8	1.8	24.9	9.1
F2〔年齢別〕								
60～64歳	849	15.8	1.6	13.1	13.1	2.6	29.4	8.0
65～69歳	850	14.7	2.0	8.8	10.0	1.6	33.5	9.6
70～74歳	696	13.1	1.3	5.3	6.3	2.7	27.6	8.5
75～79歳	517	11.2	0.8	4.3	4.4	2.3	27.3	7.5
80歳以上	381	7.3	0.3	1.0	1.3	2.6	19.2	3.7
うち85歳以上	119	11.8	-	0.8	1.7	1.7	17.6	4.2
F3〔未既婚〕								
未婚	104	16.3	1.9	14.4	5.8	2.9	29.8	5.8
既婚（配偶者あり）	2477	13.1	1.2	7.1	9.2	2.3	30.0	8.3
既婚（配偶者と死別）	600	11.8	1.2	5.8	4.2	3.0	23.0	7.2
既婚（配偶者と離別）	112	20.5	6.3	20.5	7.1	-	26.8	6.3
F5〔同居形態〕								
単身世帯	382	14.9	2.9	10.7	4.5	3.4	24.3	9.7
夫婦二世帯	1236	11.7	1.2	6.7	9.1	2.6	31.0	8.7
二世帯世帯	968	15.7	1.1	9.0	8.4	2.1	29.5	7.1
（本人と子）	860	15.6	1.2	9.1	8.5	2.0	28.6	6.6
（本人と親）	108	16.7	0.9	8.3	7.4	2.8	37.0	11.1
三世帯世帯	592	11.0	0.8	4.7	7.3	1.7	24.3	6.3
（本人と親と子）	59	22.0	1.7	3.4	18.6	3.4	32.2	6.8
（本人と子と孫）	533	9.8	0.8	4.9	6.0	1.5	23.5	6.2
その他	115	15.7	2.6	8.7	12.2	1.7	30.4	9.6
F9〔現在の収入〕								
5万円未満	91	17.6	3.3	3.3	3.3	1.1	28.6	13.2
5万円～10万円未満	305	15.1	1.0	8.9	7.2	2.3	31.5	8.5
10万円～15万円未満	416	19.7	2.2	10.6	7.5	4.6	31.3	8.7
15万円～20万円未満	456	16.0	1.1	9.0	8.1	1.5	33.8	9.0
20万円～25万円未満	536	12.3	1.9	5.4	10.1	3.2	30.8	9.1
25万円～30万円未満	437	12.4	1.6	6.4	7.8	2.5	27.0	7.1
30万円～40万円未満	424	8.5	0.7	7.1	8.7	1.4	23.3	6.6
40万円～60万円未満	279	9.3	0.7	8.6	8.6	2.2	23.3	8.2
60万円～80万円未満	64	6.3	-	3.1	7.8	1.6	29.7	4.7
80万円以上	97	3.1	1.0	6.2	5.2	-	12.4	4.1
収入はない	60	18.3	-	10.0	5.0	1.7	31.7	6.7
無回答	128	14.8	1.6	7.0	10.2	0.8	29.7	3.9
Q1〔現在の健康状態〕								
良い	890	10.7	1.1	9.2	9.0	2.2	17.3	7.4
まあ良い	757	13.6	1.2	5.3	8.6	1.8	25.6	7.5
普通	992	14.1	1.8	8.2	8.8	1.8	32.8	9.7
あまり良くない	548	14.1	1.1	6.8	4.7	3.1	40.3	7.1
良くない	106	19.8	1.9	8.5	9.4	7.5	44.3	3.8
良い（計）	1647	12.0	1.2	7.4	8.8	2.1	21.1	7.5
良くない（計）	654	15.0	1.2	7.0	5.5	3.8	41.0	6.6

表1-14② 属性別にみた日常生活で負担を感じている支出（Q13 3M. A.）

<その2>

	子や孫の ための支 出	趣味やレ ジャーの 費用	生命保険 や損害保 険などの 保険料	その他	負担を感 じている ものは特 にない	わからな い	負担を感 じている ものがある (計)
**【総数】*	7.6	3.8	14.7	3.0	45.4	1.2	53.5
〔都市規模〕							
大都市	6.5	4.2	13.5	3.1	46.8	1.1	52.1
中都市	8.1	4.0	14.7	3.1	44.7	1.3	53.9
小都市	7.4	3.1	16.2	2.4	43.7	0.8	55.4
町村	8.5	3.4	13.7	4.1	48.4	1.3	50.3
F2〔年齢別〕							
60～64歳	9.1	4.5	24.3	2.9	35.8	0.7	63.5
65～69歳	7.6	4.2	17.3	3.3	40.0	0.5	59.5
70～74歳	8.2	4.9	11.6	2.9	47.8	0.6	51.6
75～79歳	6.4	2.3	7.4	3.1	52.4	1.4	46.2
80歳以上	5.0	1.0	3.1	2.9	64.6	4.5	31.0
うち85歳以上	5.0	2.5	0.8	3.4	63.9	5.9	30.3
F3〔未婚〕							
未婚	-	3.8	15.4	6.7	41.3	1.0	57.7
既婚（配偶者あり）	8.4	4.4	16.4	2.7	44.0	0.8	55.2
既婚（配偶者と死別）	5.7	1.8	8.0	3.5	53.3	2.5	44.2
既婚（配偶者と離別）	8.9	0.9	13.4	5.4	37.5	0.9	61.6
F5〔同居形態〕							
単身世帯	6.0	3.7	8.6	5.8	45.3	1.0	53.7
夫婦二世帯	8.3	4.9	15.3	2.5	43.0	1.0	56.1
二世帯世帯	6.7	3.6	16.3	3.6	44.9	1.2	53.8
（本人と子）	6.2	3.4	15.6	3.4	45.9	1.4	52.7
（本人と親）	11.1	5.6	22.2	5.6	37.0	-	63.0
三世帯世帯	8.1	2.0	13.9	1.9	52.0	1.4	46.6
（本人と親と子）	10.2	1.7	32.2	5.1	35.6	-	64.4
（本人と子と孫）	7.9	2.1	11.8	1.5	53.8	1.5	44.7
その他	11.3	1.7	19.1	0.9	40.9	1.7	57.4
F9〔現在の収入〕							
5万円未満	6.6	1.1	8.8	5.5	46.2	3.3	50.5
5万円～10万円未満	6.9	2.0	9.5	2.6	43.9	2.6	53.4
10万円～15万円未満	7.2	2.9	11.8	3.1	42.1	2.2	55.8
15万円～20万円未満	8.1	2.9	16.4	3.5	41.7	0.9	57.5
20万円～25万円未満	9.0	4.9	16.6	2.2	43.3	0.9	55.8
25万円～30万円未満	8.7	4.1	15.3	0.9	47.1	0.2	52.6
30万円～40万円未満	7.3	3.5	15.6	2.1	49.5	0.5	50.0
40万円～60万円未満	8.2	6.1	18.3	6.5	43.0	0.4	56.6
60万円～80万円未満	4.7	4.7	12.5	1.6	57.8	-	42.2
80万円以上	4.1	7.2	14.4	3.1	66.0	-	34.0
収入はない	5.0	3.3	15.0	6.7	36.7	5.0	58.3
無回答	5.5	3.1	14.8	5.5	48.4	1.6	50.0
Q1〔現在の健康状態〕							
良い	6.9	4.2	15.5	3.9	52.0	0.9	47.1
まあ良い	8.2	3.4	15.5	2.6	47.8	0.8	51.4
普通	8.5	4.5	16.0	2.0	40.7	1.0	58.3
あまり良くない	7.7	2.4	10.4	3.1	43.4	1.5	55.1
良くない	1.9	2.8	12.3	7.5	25.5	5.7	68.9
良い（計）	7.5	3.8	15.5	3.3	50.1	0.9	49.1
良くない（計）	6.7	2.4	10.7	3.8	40.5	2.1	57.3

(15) 社会保障給付と税負担との関係 (Q14)

「今後の社会保障給付の水準と、税金や社会保険料の負担との関係」について尋ねたところ、総数では「水準を維持し、必要な増税や負担増を行うべき」が25.6%で最も高く、「水準を引き下げ、税金や負担を据え置くべき」「水準を引き下げ、減税や負担減を行うべき」がともに19.8%、「水準を引き上げ、それに必要な増税や負担増を行うべき」が12.3%となっている。

平成19年度調査と比較すると、「必要な増税や負担増を行うべき」の2項目の比率がやや高まっている。

都市規模別にみると、規模が大きいほど「水準を引き上げ、それに必要な増税や負担増を行うべき」が高く、規模が小さいほど「水準を引き下げ、税金や負担を据え置くべき」が高くなる傾向がみられる。

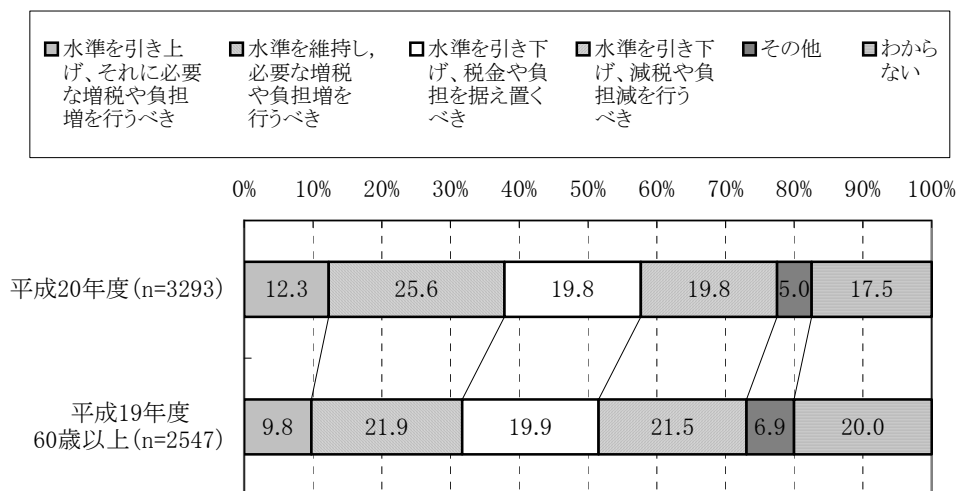
性別でみると、男性では「水準を引き上げ、それに必要な増税や負担増を行うべき」が16.5%、「水準を維持し、必要な増税や負担増を行うべき」が28.8%と、「必要な増税や負担増を行うべき」の比率が高いのに対し、女性では「わからない」が23.9%と高い。

年齢層別にみると、年齢層が高いほど「必要な増税や負担増を行うべき」の比率が高くなり、80歳以上では「わからない」が37.5%を占める。

現在の職業別にみると、常勤の被雇用者では「必要な増税や負担増を行うべき」の比率が高いのに対し、自営業では「水準を引き下げ、減税や負担減を行うべき」が高くなっている。

現在の収入別にみると、収入が多いほど「水準を維持し、必要な増税や負担増を行うべき」が高くなり、収入が少ないほど「水準を引き下げ、減税や負担減を行うべき」が高くなる傾向がみられる。

図1-15 時系列にみた社会保障給付と税負担との関係 (Q14)



現在の健康状態別にみると、「良い」＋「まあ良い」の層では「水準を維持し、必要な増税や負担増を行うべき」が27.3%と最も多い。一方「あまり良くない」＋「良くない」の層では「水準を引き下げ、減税や負担減を行うべき」が22.6%と多い。

表1-15 属性別にみた社会保障給付と税負担との関係（Q14）

	総数	水準を引き上げ必要な増税を行うべき	水準を維持し、必要な増税を行うべき	水準を引き下げ税金を据え置くべき	水準を引き下げ減税などを行うべき	その他	わからない
【総数】	3293	12.3	25.6	19.8	19.8	5.0	17.5
〔都市規模〕							
大都市	735	14.6	25.4	18.1	20.3	5.7	15.9
中都市	1337	12.9	27.3	19.0	19.4	5.4	16.0
小都市	835	11.3	24.2	21.2	18.7	4.7	20.0
町村	386	8.0	22.8	23.1	22.8	3.4	19.9
F1〔性別〕							
男性	1551	16.5	28.8	19.4	18.7	6.3	10.3
女性	1742	8.6	22.7	20.2	20.8	3.9	23.9
F2〔年齢別〕							
60～64歳	849	17.0	28.5	20.0	20.7	5.2	8.6
65～69歳	850	13.8	27.3	21.9	20.1	5.6	11.3
70～74歳	696	9.3	26.7	20.1	19.3	5.5	19.1
75～79歳	517	10.3	20.9	18.8	20.3	4.6	25.1
80歳以上	381	6.8	19.4	15.7	17.3	3.1	37.5
うち85歳以上	119	5.9	16.8	15.1	14.3	1.7	46.2
F6〔現在の職業〕							
農林漁業	143	9.1	23.1	21.0	21.7	6.3	18.9
自営業	397	11.8	26.7	20.9	24.4	6.0	10.1
常勤の被雇用者	183	24.0	29.5	15.8	18.6	2.7	9.3
会社の嘱託や顧問等	78	10.3	38.5	19.2	20.5	9.0	2.6
契約・派遣・臨時・パート	314	12.4	24.5	23.2	20.7	7.0	12.1
内職	23	-	17.4	26.1	34.8	-	21.7
その他	14	21.4	28.6	21.4	7.1	7.1	14.3
仕事はしていない	2141	11.7	24.9	19.3	18.7	4.6	20.7
仕事をしている（計）	1152	13.4	26.7	20.7	21.9	5.9	11.4
F9〔現在の収入〕							
5万円未満	91	3.3	11.0	14.3	23.1	3.3	45.1
5万円～10万円未満	305	8.9	14.1	17.7	24.9	3.0	31.5
10万円～15万円未満	416	11.5	19.2	18.0	20.9	5.0	25.2
15万円～20万円未満	456	9.2	25.2	23.7	19.3	4.2	18.4
20万円～25万円未満	536	11.0	25.6	20.9	22.4	5.6	14.6
25万円～30万円未満	437	12.8	31.6	20.8	18.1	7.1	9.6
30万円～40万円未満	424	13.0	31.6	24.3	17.0	3.5	10.6
40万円～60万円未満	279	20.8	32.3	16.5	17.6	7.5	5.4
60万円～80万円未満	64	15.6	31.3	26.6	17.2	1.6	7.8
80万円以上	97	17.5	43.3	11.3	13.4	10.3	4.1
収入はない	60	10.0	6.7	11.7	28.3	6.7	36.7
無回答	128	18.8	22.7	12.5	14.8	1.6	29.7
Q1〔現在の健康状態〕							
良い	890	14.7	26.4	22.6	20.3	6.0	10.0
まあ良い	757	10.7	28.3	20.7	19.7	4.4	16.2
普通	992	12.6	27.2	19.5	17.5	4.9	18.2
あまり良くない	548	10.4	19.5	16.1	22.6	4.4	27.0
良くない	106	10.4	15.1	13.2	22.6	6.6	32.1
良い（計）	1647	12.9	27.3	21.7	20.0	5.2	12.9
良くない（計）	654	10.4	18.8	15.6	22.6	4.7	27.8